

錦城会徳島支部 十周年記念大会

詩吟朗詠錦城会徳島支部の創立十周年記念大会は、田中内閣の副総理三木武夫、衆議議員秋田大助、同森下元晴、参院議員小笠公昭、久次来健太郎、泉謙原田也諸名士並に各界名士の賛助後援で、東京錦本部より宗家山元錦城、理事長大塚城聖、夏秋錦穂、丸山城壮、西、林田、上野と女流師範幹部を迎え、本部理事で支部長の水田錦登大会々々長、支部理事権野氏委員長となり、県芸術祭参加として十一月四日徳島県郷土文化会館大ホールにて開催された。東京錦本部より男子部の大幹部城戸、金子、松尾、井口、大登諸氏も参加されて上演七十題で盛会であった。

小金井市制音楽祭

東京都小金井市の市制十五周年記念音楽祭が、十月六日午後一時より十時まで市公会堂にて催された。日本舞踊、能、びわ、箏曲、民謡三曲、パレエ、ゴラス等が上演された。琵琶の出演名手は伊藤露水、加藤喜水、中島瀑水、中村修水、清水源城、高杉洲靖の諸氏で三曲が演奏されて人気を受けた。

浜松鶴城会琵琶会

静岡県浜松市で薩摩琵琶と詩吟の両教授で有名な小野鶴彦師は、鶴城会琵琶演奏会を十一月二十五日正午より西遠荘で催した。当日は会員の外東京より吉田旭明、仲川秀邦、清川嵐舟、京都の長井春

嶺の四名手が求賢として出演された。会主小野師は山本鶴彦名人の一門である。

故東師追悼琵琶会

故山口錦堂名人の高弟で、釣の大家で知られた東錦堂師が去る四十七年死去され惜しまれたが、未亡人本庄錦糸さんと故友秋山錦賜、下村春浦、大坪春風氏等の主催で追悼琵琶演奏会が十一月十八日午後横須賀市浦賀京浜団地の町内会館にて行われた。出席演奏者は本庄錦糸未亡人の初手向けに始まり、秋山錦賜、下村春浦、大坪春風、吉田錦賜、西錦翠、大森錦長、山田幻水、平野鉦水、斎藤殊水、藤川晴水、村上虎水、土橋水、安西恵水、采崎純水、鈴木江水、瀬谷香水、酒井峯水、若林旭洋、山田旭芳、曾我電城の諸氏と他数名で故人慰霊を謹行された。

埼玉絃友会の 追善琵琶演奏会

錦琵琶の名手箕村松州会長の埼玉絃友会では、同会顧問であった水藤錦輝師が四月急逝された外関係者八人も物故されているので、慰霊のため追善演奏会を十一月十八日寄居町の中町会館にて催した。当日東京より水藤枝水、水藤五郎、木原綾子の三師が参席されて手向けられ、会員の外来賓も慰霊奏で敬弔された。出演名手は根岸光治、町田路加、今泉力翠、大沢妙水、小林月洲、落合白水、井上瀧水、原田曲水、田島松水、河合志水、斎藤桜玲、丹羽美山

非売品

編集発行者 鈴木蒼士

東京都練馬区豊玉北五ノ二

電話(九九一)〇三六三番 芸の友社



琵琶特集
一月号

昭和四十九年一月一日発行

総裁宮の臨場 トンガ国王臨席

全国吟剣詩舞道 大会の豪華絵巻

偉徳光る笹川会長



(笹川良一会長)

当代屈指の財界の巨頭で、国民精神芸能界の権威者である笹川良一先生が会長の財団法人日本吟剣詩舞道協会主催、恒例の行事である全国吟剣詩舞道大会(第六回)が十一月十一日午前八時より東京九段の日本武道館に於て開催され同会の名譽総裁高松宮妃喜久子殿下並に御訪日中のトンガ国王陛下の御臨場の下に壮厳な式典が挙行され、笹川良一会長のご挨拶の後優勝団体、コンクール優勝者の表彰状賞品の授与があり、更に午後より村上元三構成「四季の讃歌」の題による吟詠、吟詩舞、剣舞道を織り交ぜた大絵巻が目も

新年の辞

絢なす豪華さで二時間に亘り繰り展げられ、一万余の参観者を陶酔させ絶賛を博した。同振興会は会員二百三十余万人の日本一の大会能団体である。

昭和四十九年甲寅の新年を迎え、世界の平和と万邦の繁栄、庶民の福祉多幸を祈念し、併せて全愛読者各位より本社に寄せられし御厚意に対し深く感謝を表します。

近年の世界情勢は中東亜国間の悪化につれて人心の慌擾甚しく、諸物価の暴騰は益々民心を動揺せしめつつあるは真に遺憾の極みである。我が国が終戦後三十年に至る間に経済的の発展のみを重視して教育を軽んじ、特に少年の家庭教育に無関心の方針を取られた事は今日の悪世相を生じた遠因ではあるまいか。我等日本民族の伝統精神は道義礼節の良族であり東洋の模範国家であった。現下の世界は物欲の争いのみに狂奔し、人生の最大事である精神の修養を等閑しているのではないか。社会は共同生活である。相寄り相扶ける博愛心と互譲の氣風を忘れてはならぬ。音楽は人々の氣持を柔げ一

友田旭泉さん活躍

北九州戸畑の筑琵琶界には旭会と福会の方が各種の催しに活躍されているが、別して友田旭泉さんは若くて芸も優れ、明るいお人柄で人気を呼び各方面で支援多いと

五、六十名様までの 舞台つき和室 貸ホール

小唄、民謡、琵琶
詩吟、和風芸能
講習、小集合等
(短時間でも御利用を)

料用使

星一時間一、〇〇〇円
夜二時間一、三〇〇円
全日(午前十時より夜九時迄)三、〇〇〇円
平日一、二〇〇円
土、日、祭一、五〇〇円

洲鳳会館

新宿区新宿一ノ十四ノ九
電話(四七三)六六六番
地下鉄は新宿御苑前駅(下車三分)

一水会本部長

小山田師が重任

錦心流琵琶一水会本部では、十一月十二日の東京銀座のガスホールに於ける錦心祭全国大会大演奏会の習ひ、文京区大家の開拓会館に於て定期総会を開催、該議事進行に連れて会長以下全役員任期満了に依り改選を行った。その結果は小山田賞水現会長の重任に決定し、他役員も略留任された。

鶴田錦史名人が オーストラリア インドネシア 初公演



(鶴田錦史師)

世界の交響楽団中に日本音楽の琵琶楽器で名を全世界に轟かせている鶴田錦史名人は、四十八年度最終の海外公演は、オーストラリアのシドニー港に建設されたオペラ劇場開場記念会と、インドネシアのジャカルタでの出演と共に十一月下旬であったが同地共素晴らしい人気で成果を収められたと。

精密部品加工業(腕時計部品)

ネクタイ整形具(タイフレンド)製造販売

平井精密工業 有限会社

本社 所沢市日吉町17-13 電 0429 (22) 3175
工場 所沢市荒幡 218 電 0429 (22) 3660

社長 平井 円吉(洲誠)

染料・染色助剤・化学工業薬品
合成接着剤・界面活性剤・製造卸商

株式会社 戸谷染料商店

社長 戸谷 曙水

本社 東京都台東区下谷2丁目8の9
電話(873)3111, 3112, 3113, 3114, 3115
工場 埼玉県草加市吉町1丁目5の21番地
電話 草加 0489 ② 4955 番

最古の傳統と最高の技術

薩摩琵琶 専門製作

附属品一式

愛吟集 各定価 400円 送料 55円

創業明治十一年
石田琵琶店
東京都港区芝田町八番
電話芝田 六五四八番
西久保巴町電停横大通り

お酒と新鮮魚

大衆的実質酒場

荒井屋

友吉健ちゃん
東京浅草雷門横
電話(844)四二五一番

筑前琵琶製作
三田村 琵琶糸
謹製
東京都渋谷区神山町八番地三番
NHK放送センター1西口前
三田村楽器店
電話渋谷 六八二二番

謹賀新年

鶴田錦史

〒136 東京都江東区亀戸三ノ九ノ一九
電話 〇三 六四三二番

謹賀新年

笹川鎮江

〒112 東京都文京区千石町二丁目三ノ一三
電話 〇三 四〇七三二番

新年 賀 謹

日本芸能顕彰会

理事長

鈴木鉦次郎

〒114 東京都北区田端町一五三
電話 〇三〇六六六二番

筑前琵琶

日本橋会

家元 二世橋 旭宗

〒152 東京都目黒区目黒一ノ三ノ三一
パピヨン目黒九〇三号
電話 〇三〇三二〇三番

東大阪旭会会長

東大阪市琵琶歌協会会長

榎本旭風

〒537 大阪市東成区神路町三丁目八ノ一八
電話 〇六〇二二一九一(四番)
〇二七七七八番(夜間)

高千穂旭楓

〒544 大阪市生野区小路二ノ二六ノ二五
電話 吳剛 〇六六七番 〇三二五番

松田旭波

〒573 大阪府枚方市御殿山南町三番五七ノ
二〇四 電話 〇五〇(41)七六〇〇番

琵琶清吟会

会長 岩田錦呈

事務所

〒150 東京都渋谷区神山町八ノ二
(三田村琵琶店內)
電話 〇六八二二一(一)番

錦心流

一水会本部

会長 小山田賞水
外役員 一同

〒112 東京都文京区大塚五ノ六ノ一四
電話 〇四四四六一番

錦心流琵琶教授
国風流詩吟師範
一水会横浜副支部長

国想高橋肆水

〒233 横浜市中区大岡二ノ二七ノ十二
電話 〇四六八一(一)番 〇四八四番

藍綬褒章受章の 榮譽、兩宮国風師

現代吟詠界の權威と名声内外に轟く巨匠、国風流宗家兩宮国風師は、多年に亘り国民精神芸術の発展向上に寄与されし功績偉大なりとして十一月十九日皇居へ召され



(兩宮国風師)

藍綬褒章授与の恩典に浴されたのは名譽である。今回の授章は財団法人日本吟詠詩舞振興会の推選に依るものである。

兩宮師は大正時代に錦心流琵琶の四天王の一人と称えられた大家で、後に吟詠国風流宗家を創建して国内は勿論海外まで権勢を拡め方に近い門下を擁して吟界の名將と謳われ徳望当代に輝く。

新春吟詠初放送

二日早朝NHK
テレビでの名手

新春を寿ぐテレビ芸能の吟詠家の初放送は、一月二日朝六時十五分より、静風流宗家笹川鎮江師を筆頭に、横山岳精、深田光靈、肥後玉翠、星野紫紅、林鳳俊の諸名手である。

三日のテレビ放送

一月三日NHKテレビ午前六時

十五分より放送される吟詠名手は菅原雪山、津野錦風、小室一貴、黒川哲泉、飛田風粹、山元錦城師とその一門の諸名手である。

新春初舞台飾る 琵琶楽名流大会

一月三十日十一
時。三越劇場で

新春の舞台開き吉例の琵琶楽名流演奏大会は、一月三十日十一時より日本橋三越本店の劇場に於て日本琵琶楽協会と東京新聞社の合

同三日フジテレビ朝七時半より八時まで第六回吟詠詩舞道大会で上演された「四季の讃歌」の一部が放送されると。

雨宮国風

〒232 横浜市中区弥生町三ノ三〇
電話 〇五〇三二五八・三二五九番

同主催で開催される。例年の新年初会の出演者は東京在住名手で占められ、それも略定の人々で限られていた状態であった。昨夏に協会の総会で運営方針が改革され、其の第一年の企画が注目されて、その十一月中旬に早くも全出演者の顔触れが決定発表された。それによると今年の出演は近年全く出演されたことの無い山元旭錦名人や石坂鶴朋、小原旭成さん

世界楽壇の名

人鶴田錦史師の初のリサイタルが九月十三日上野文化会館にて催され、三千人の大聴衆で斯界に新記録の成果を収め驚かせた。

写真は当日の交響楽の舞台面で立つ人向って左琵琶を持って居るのが鶴田師中央うしろ向きが指揮者の小沢征爾氏。右が尺八の横山勝也師である。

と神戸の柴田旭堂さん、京都の平井春鎮氏の名が見られ、紅会同人八人の合奏なども近年珍らしいこととでファンに興味を呼ぶであろう。正統会の花形清川風舟、須田誠舟、翠びわの広瀬翠紅、筑前派の押川旭葉、錦の新都桜水さんと若手精鋭の巧者に対し、古田耕水、石田脩水、桑名洲聖、前田洲月、島田春水、仲川秀邦、栗原雨竹、吉家絃風、田中旭嶺、都錦穂、藤巻旭鴻の古老組や幹部の人物が如何に新春の功名を挙げるとは興味深いところで当日の人気の程が期待される。出演者と曲目は次の通り。(順位)

- 栗津の露 ▲藤巻旭影 ▲城山 清川風舟 ▲道成寺 ▲広瀬翠紅 ▲舟弁慶 ▲石田脩水 ▲旅順口 ▲古家絃風 ▲戻り橋 ▲小原旭成 ▲広瀬中佐 ▲前田洲月 ▲吉野落 ▲須田誠舟 ▲那須の身市 ▲押川旭葉 ▲巖流島 ▲島田春水 ▲戦艦大和 ▲栗原雨竹 ▲大楠公 ▲柴田旭堂 ▲茨木 ▲古田耕水 ▲橋三番叟、(歌) ▲原島旭粧 ▲小笠原旭星 ▲宮武旭豊 ▲三上旭風。(絃) ▲押田旭翁 ▲原旭潮 ▲原田旭旭 ▲田中旭千榮 ▲四糸嶽 ▲平井春鎮 ▲義土の本懐 ▲田中旭嶺 ▲新曲敷 ▲石坂鶴朋 ▲核狩 ▲大塚岳 ▲須磨の敦盛 ▲都錦穂 ▲羅生門 ▲藤巻旭鴻 ▲彰義隊 ▲仲川秀邦 ▲桑名洲聖 ▲曲垣平九郎 ▲新都桜水 ▲衣川 ▲山元旭錦。

古田耕水師が 勲七等を受章

日本琵琶楽協会総務委員の古田



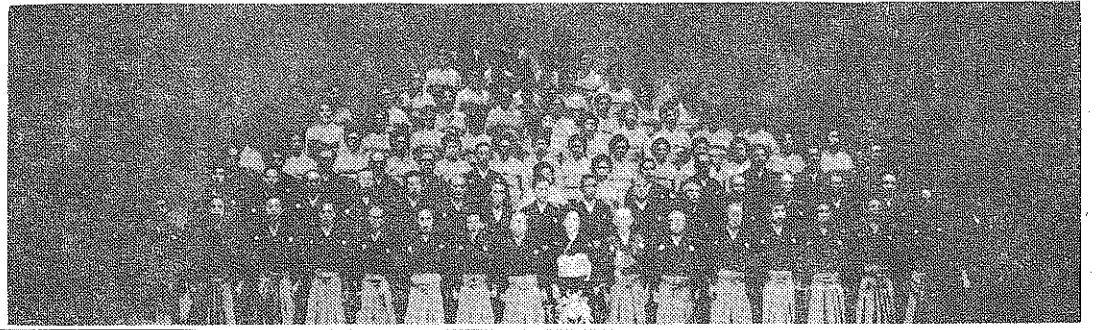
(小山田会長)

耕水(本名建平)師は、去る十一月三日文化の日に職務関係の功績により勲七等青色桐葉章を受章された。

錦心流一水会の 本部新役員決定

錦心流琵琶一水会本部の会長始め全役員は、昭和四十八年十一月の定時総会前日で満二年の任期満了となり、総会に於て改選される規定である。四十八年度錦心祭全国大会演奏会も盛況裡に相済んだ十一月十二日の翌日に文京区大塚の開拓会館に於て開かれた総会にて小山田会長以下の新役員が左の通り決定し発表された。

- 会長 小山田賞水(略任) ▲名誉会長 松田静水(留任) ▲各審顧問 谷津水(留任) ▲顧問 小池幸水 ▲同宮原蓮水 ▲同萩野甲水(例れも留任) ▲副会長、秋嶺水 ▲同船谷六水(両者留任) ▲理事 桑原敬水 ▲横溝璋水 ▲山口速水 ▲中谷鑑水 ▲松田殊水 ▲鈴木琢水 ▲関恵水 ▲杉本淳水 ▲内田琴水 ▲高橋暉水 ▲藤川晴水 ▲松岡遊水 ▲新井淳水 ▲石崎徳水 ▲島田春水(以上留任) ▲根本山水 ▲石井桑水(両者は新任) ▲監事、松本孝水 ▲平野鉦水(両者は新任) 以上。



山元錦城師リサ イタルの舞台面

吟詠界の女王である錦城流宗家山元錦城師の東京移住二十周年記念のリサイタルが十月十日読売ホールにて開催され、来聴二千人。演技六時間の豪華版で激賞を受け成功を収めた。写真は当日の最終舞台面「祝賀の詩」の壮観で、前面中央の女性が山元錦城宗家で、壇上の全員は全国各地より参加の錦城会幹部師範級以上の首脳である。

宮崎邸の弾初式

一月二日午後二時、琵琶名曲録音盤の日本一の所蔵家である東京世田谷区お住居の弁護士宮崎直二先生は、二十年近く毎年一月二日に各琵琶の名匠を自邸に招き、新年弾初会を催し収録されるのが恒例となっている。来る新春二日にも弾初めを行い年賀の交礼を催されると。

勲五等瑞宝章と 受章の板谷翼氏

祝宴の盛儀張る
筑前琵琶の日本一の歌い手と名声海外までも轟く広島市の板谷旭呂女史の夫翼氏は、原爆被災の広島市で終戦後逸早く木建築の旅館を開業し、国鉄指定観光協会指定連盟旅館として国土復興に貢献

謹賀新年 水藤枝水

〒114 東京都北区上中里一ノ二五ノ一三
電話(910)六〇四七番

四の絃

喜びやら悲しみやら交々たる癸丑四十八年を送って茲に昭和四十九年甲寅の新春を迎えた▲新年お目出度とお慶びを申し上げますと共に御愛読者皆様の御健康と御幸福を祈念し併せて永年に亘



候(旭島夫人同席)の両階下に拝謁の上に御言葉を拝受の光榮に浴した。宮中退席後議事関係筋への挨拶を済し十七日帰京されたが、翼氏は同月二十九日正午ステーションホテ

らせる苦勞は並大抵ではない▲苦心重ねること二十五年目の春が今年である▲今年終戦から算えて三十年になる▲当時の赤ん坊は人生真盛りの壮年となり日本国の將來の荷い手となっている▲戦争の体験者は一様にその悲惨冷酷さを知り平和を念願して居るが世界平和が容易に実現に至らないのは残念である▲昨年の新年に全国琵琶同好に流派を超えて大同団結を提唱し強力な母体の結成を切望した▲それは戦後の我が国は文化国家民主主義の国体と変ったので社会公共事情は個々体でなく協力体が重視され論功行賞も団体の推薦に依る点が重要であるから▲文化国として文化教育者や芸能人の功績表彰の道が拓かれ政府が表彰される▲各芸能人がこの恩典(叙勲や褒章)に浴している▲琵琶人の受章者が中央では昨夏急逝された水藤錦城さん一人のみ▲それも故人となつての追悼で生存中の受勲ではなかった▲現生存中の各流の大家中に叙勲は別として憲章条令に当てはまる資格者は居られると考察されるが如何に▲その申請手続きには有力な団体(協会とか連盟)が必要である▲錦城師没後この申請のために日本琵琶楽協会が骨折りしたが実に苦しい体験をされた▲今年寅年であるが虎は死して皮を残すと古諺にある▲人は没して名を残すとか美名を後世へ残すために各流派の団体首脳者は一切の行懸りや感情を捨て大同団結への協力に努むべきだ▲それが後年美名の糧となると悟れよ。

正賀

詩吟朗詠 錦城会
錦城流宗家 山元錦城
錦城会々長

筑前琵琶 旭錦会
会長 山元旭錦

総本部 166 東京都杉並区成田西一ノ六ノ三
電話(三三三)六二二二番

166 東京都杉並区成田西一ノ六ノ三
電話(三三三)六二二二番

相談役 副会長 理事長 常任理事

佐々木 野秋本 丸山本 山元 大塚 今井 大城 松戸 西村 杉野 椎川 金名 佐藤 箕浦

昇昌穂 嶽光聖 浩勝雲 香豊 虎昭 典静

谷内口 登磯 三倉 沢木 茂田 戸谷 古村 山中 斎藤 帳佐 尾松 小浜 林城 城城 城城 城城 城城 城城 泉将

千住 夏秋 大田 龜田 堤原 松原 本郷 本村 中野 上野 智子

膳場 中島 鈴木 丸山 三栖 佐々木 金子 城戸 小城 小川 上武 齋藤 飯島 三好 齋藤 孝子

謹 賀 新 年

日本琵琶振興会

会長 鈴木流泉

343 越谷市大成町一ノ二三九三
電話 〇九九(82) 一二四一、三三三
毎月第四日曜一時〜八時、新宿一丁目洲鳳会館
にて親睦研究会を催しております。本年も皆様
の御参加をお待ち致します。

大和流琵琶吟宗家

山崎光掾

筑前琵琶橘会宗範

山崎旭萃

569 大阪府高槻市津之江町二ノ三ノ三
電話 〇七五(71) 六五八〇番

筑前琵琶日本旭会

宗家 橘旭翁

102 東京都千代田区三番町三
電話 〇三三(262) 一三八七番

玄象会

弘沢雨水

133 東京都文京区西片一ノ一四ノ三
電話 〇三三 一五五一番

全国朗吟文化協会関東副支部長
テイチクレコード専属
群馬琵琶連盟会長
日本錦古流総本部会長

宗家 針谷錦古

370-13 高崎市岩鼻町局前二四七
電話 〇七三(46) 二〇〇六番

薩摩琵琶・吟詠・尺八古典本曲教授

山本鶴聲

支部長 森田紅声
支部長 海野白声
支部長 清水慧声
吟詠鶴声流本部
420 静岡市古庄四六〇ノ二〇
電話 〇五二(61) 五〇五〇番

鎌倉琵琶楽会

曾我龍城

248 鎌倉市長谷一丁目十一ノ三
電話 〇五七(23) 九〇二五番

琵琶洲聖会
誠洲流吟詠会

誠洲 桑名洲聖

108 東京都港区白金二丁目十二ノ二
電話 〇三三 三六一七番

吟詠 赤心流家元

赤心流鶴翁

総本部
420 静岡市西草深町二ノ二〇
電話 〇五二(53) 一四七一番

横須賀琵琶連盟

会長 山田幻水

237 横須賀市船越町一ノ五〇
電話 〇六六(6) 三六七六番

筑前琵琶

東京橘会

宗家 橘旭宗
事務局
166 東京都杉並区成田西一ノ六ノ三
電話 〇三三(315) 六二二二番
(山元旭鶴方)

一水会富山支部
北陸琵琶同好会本部

田中歴水
田中愛水

930 富山市太田口通り一ノ六ノ二四
電話代表(25) 三七一四番

筑前琵琶日本旭会副会長
芸団協筑前琵琶連合会副会長
宗家 参司

師範 斎藤旭章

102 東京都千代田区三番町三
電話 〇三三 三八二六番

日本橘会師範

松本旭柳

461 名古屋市中区東外堀町二ノ六
電話 〇五二 五二一〇番

戸谷曙水

110 東京都台東区下谷二丁目八ノ九
電話 〇三三 三一一一、三五番

新年 謹賀

一水会本部会長

小山田賞水

112 東京都文京区大塚五ノ六ノ一四
電話 〇四 四六一・五九三番

錦心琵琶秋声会

前田秋声

141 東京都品川区西五反田四ノ八ノ三
電話 〇四 八三三・三三二番

錦心流琵琶大阪綴水会長
雲井流吟詠錦心吟社本部

広瀬綴水

573 大阪府枚方市上島東町四

錦心流琵琶三浦蓮水後援会

加藤弥三三

事務所 西宮市松原町八八電話西宮(26)三三三番

蓮水会長 三浦蓮水

662 西宮市羽衣町七ノ三四 電話(七九)三三三番

会員一同

奥田医院

奥田興

113 東京都文京区湯島三ノ八ノ二
電話 〇四 八三七・七一七番

一水会本部理事
義水会顧問

島田春水

142 東京都品川区小山六ノ八ノ一三
電話 〇四 九六一・八八三番

一水会城南支部
義水会会主

斎藤義水

103 東京都中央区日本橋蛸薬町一ノ二一
電話 〇三 五一六一・一七七番

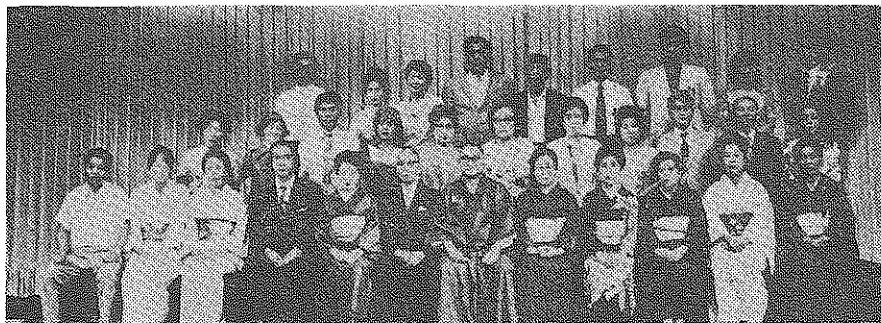
日本錦古流藤城会々長
琵琶・詩吟教授

テイチクレコード専属
全国朗吟文化協会常任理事

総伝師範 四方田錦隆

375 群馬県藤岡市古坂町乙ノ一四六
電話(三三)〇二二三・七七番

藤巻旭鴻師主催 夏期演奏会記念 (写真説明)



東京琵琶界に於ける第一線の総帥者で、旭会系屈指の名將である実力者藤巻旭鴻師は、残暑厳し

い八月二十六日丸の内農協ホールに於て演奏会を催し、スライド利用の「義経の生涯」を上演と他十数曲を阪神や九州各地より賛助の名流と、東京各流名手協賛で出演され非常に好評を博し藤巻師ならではの好果を収めた。写真は当日の記念で(前列)向って右より藤巻師夫人、峯旭孝、樋口旭清、小倉河野旭保、大阪山崎旭孝、藤巻旭鴻会主、芸の友鈴木誉士、原島旭艇、尺八の師匠、林田旭史、一人おいて藤巻旭陽(二列)右より久徳旭蘭、能手旭辰、水藤五郎、横野旭風、富樫旭桂、古川旭冷、須田旭綱、榊原舞踊団員、その他で後列左端が藤巻旭彰氏である。

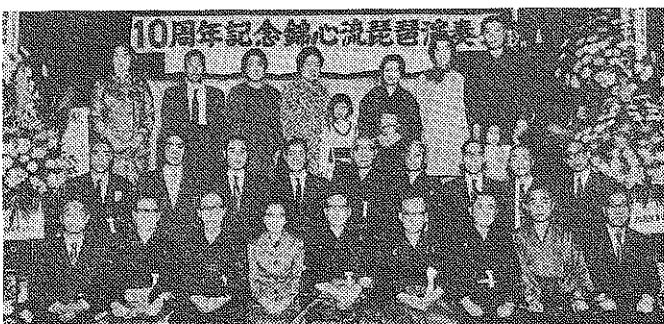
古曲研究所主催の 薩摩琵琶会賑う

東京薩摩派の元老辻靖剛翁が主導の薩摩琵琶古曲研究所は、開始以来六年この間に斯道の天才と呼ばれる英敏の新人須田誠舟君を始め十余の新入門を育成して琵琶道の振興促進に尽瘁され、薩摩琵琶界に新風を吹き込んで明るく展開されて来た。その古曲研究所では研究生の技術向上の資料にと琵琶公演の初会を十一月十日午後一時より神田神保町の岩波ホールに於て開催された。前夜来降り頻った雨も正午頃には止んで秋の薄陽も漏れる暖かき。演奏は今村潮舟「宵公」を皮切りに、青沼紅舟「月下の陣」小村、須田、堀越三氏の弾法「崩れた下段」と若人の真摯の技が上演されてファンを魅はせる。清川

立川市の琵琶会

東京都立川市の市長や公民館長等有志の肝入りで、四十七年夏頃より邦楽精神芸術復興の機運が盛り上り、殊に大正時代から昭和の大戦前まで流行を極めた琵琶楽を復興せしめて往年の民心を呼び戻し、楽しく明るい社会を実現したいとの考慮より立川市琵琶研究会を創立し、第一回演奏会を十一月十一日午後一時から同市中央公民館にて催し、石黒門下十余名の合奏「金剛石」を序奏に、小峯沢水、坂井眺水、小川吐水、栗原雨竹、伊藤盛水、清水源城、村木桜柳、石黒錦歌の各会員、求實の水藤五郎、広瀬翠紅、仲川秀邦、木原慶子、関口竜城、岡部錦蝶、日原錦楼の諸氏が出演して妙技を競われ、皆懐しい雅音に二百余の来聴者は大喜びであった。この日市長や公民館長も挨拶されて会員を励まされた。

一水会金沢支部 十周年記念大会



錦心流一水会金沢支部の創立十周年記念演奏大会は、十月二十一日午後石川県婦人会館にて催され東京本部より秋嶺水、松岡遊水師、地元金沢の水谷支部長、福井



(大館洲楓師)

大館師新春放送
現代琵琶界の名匠中の大物である錦心流大館派の宗家大館洲楓師は、七十七の半を過ぎていたため常に健康に留意されて公開演奏を

小山田会長入院

錦心流一水会本部会長小山田賞水師は、九月中旬風邪気味にて静養中であつたが、入院治療を薦められ同月下旬清瀬病院へ入院加療への出場を見合せて居られたが経過頗る良好で一月中には退院し得られる予想である。

恭賀新年

甲寅年元旦
芸の友社
社長 鈴木誉士
東京都練馬区豊玉北五ノ土
電話 〇三 三六三番

藤川晴水

115 東京都北区志茂四ノ四八ノ一四
電話 〇四 一三〇八番

日本琵琶楽協会

吉田尚史

105 東京都港区西新橋一ノ十二ノ七
電話 〇三 七八九・九三八九番

薩摩正絃会

西郷吉之助

105 東京都港区西新橋一ノ十二ノ七
電話 〇三 七八九・九三八九番

西村錦風

新部桜水

153 東京都目黒区五本木一ノ一ノ十一
電話 〇三 四九四・五四四番

関西橋会発会 演奏大会記念

(写真説明)

日本橋会所属の関西の会員が集り関西橋会を創立し去る九月三十日彦根市の市民会館ホールに於て



発会記念演奏大会を催し、雨天ながら満員の盛況で好評を受けた。写真は当日の記念で(前列)向かって右より山本旭城、来賓二人、堀田旭甲、家元橋旭宗、会長山崎木旭芳、大迫旭山(二列)右より三人目女の方寺尾旭吉、矢吹旭美津、渡島旭鶴、久徳旭蘭、丹生谷旭春、林田旭城、佐伯旭瑛(三列)中央眼鏡の男子田中旭法その左へ島田旭千、安住旭康。他は関係者と会員並に当日の協賛有志の方である。

特記事多かつた 四十八年を回顧

昭和四十八年という年は、琵琶人にもファンにも忘れる事のない年であった。その第一印象は琵琶界の至宝と万人から愛されていた名人水藤錦徳さんが、四月二十日の三越劇場の舞台出演中に倒れた痛恨事である。つづいて五月の琵琶楽協会葬と同日錦徳師へ勲五等瑞宝章の叙勲が発表された事である。琵琶界一筋に生きた錦徳さんの国民精神教化に尽された功績を嘉せられたもので永遠の輝きである。◇第二は鶴田錦史師のリサイタルの成功である。リサイタルとは自芸の独演を意味するが、大部分の催しは多くの有名芸能人や門下の協力助演による企画で実行されるのが例である。鶴田師のリサイタルは始めてであるが、開演時間は二時間、上演四曲。それで

最高入場料二千五百円。入場者約三千人の超満員であった。百人近い交響楽団人が出場されたと言え、奏曲は二曲のみ。鶴田師の琵琶独奏も二曲だけで以上の成績を収められた事は驚異すべき事実である。吹米各団の楽団より重宝される名人鶴田錦史師の偉大が推量されよう。◇第三は筑前琵琶の名人であるが現在は琵琶よりも吟詠面で威大な権勢を示し、立志伝中の成功者と敬称される山元錦城女師の第二回目的リサイタルの成功である。山元師の企画は芸の主導的よりも大衆教化に重点を置かれた興味本位の催しと察しられた。入場料は最高二千円で約二千収容の会場は超満員の盛況。開演時間は六時間、出場は山元師の外門下の師範級教導名手百余人と、筆、三絃、尺八、十七絃の伴奏者他で豪華舞台即ち魅力効果を狙った企画で、現代稀な女流巨匠の貫祿を示め、現代稀な女流巨匠の貫祿を示された。以上が東京にあった四十八年度の特筆事象であるが、戦後十数年に亘る毎年の新春行事である一月二日の宮崎直二先生(琵琶名人録音收藏家で支援大家)邸の弾初め行事に始まり、各大家の新年会や新年演奏会、吟詠詩舞振興会の新年の集いと初春の賑やかな催しが続いた。横浜の雨宮国風師のリサイタルが一月十五日雪降りの日に開かれたが満員の大人気は師の人徳の賜物であった。三月四日に東京で故橋旭宗家七回忌追善と兼ねた橋会全国大会演奏会が催されて実力橋会という実績を挙げられた。吟詠詩舞振興会が全国

少壮吟詠家審査コンクール決戦大会を東京久保講堂で開き百選手を出場させたのも三月で、琵琶研究会が創立二十五周年記念会を催したのも共に三月である。四月には錦城会の全国大会が彦根市で挙行され、一水会横須賀支部の十周年記念会、東京では紅会の公演が三越劇場にて行われ、水藤錦徳名人の出演中の卒倒事件が突発した。五月に浅野晴風師の独演会が新宿で開かれ、鶴田錦史名人の英国とフランス公演があり良果を収められた。六月三日に大阪高島屋ホールで榊本旭風大阪旭会長主催の琵琶大会があり満員の盛況で関西流人の芸風をじかに聴く事を得たのは榊本会長のご厚意に依ると感謝している。越えて同月十日に河崎の吟詠甲心流宗家堀田旭甲師の招きで同地の大会を視察、翌日豊川稲荷を参拝したのは幸であった。三世橋旭翁宗家の追悼琵琶会が東京旭会主催で開かれたのも此の月である。八月は下旬に藤巻旭鴻師が豊協ホールで地方名流出演の演奏会でスライド応用の試みを行ったのは好評。斉藤義水師が上野本牧亭で戦没者遺族慰安の琵琶会で満員の人気を見たのはこれが始めてのことで満悦の態。

九月は前記鶴田師のリサイタルで、琵琶上空前の成果であり、弘沢雨水師主催の伝統芸能名流会も入場者は兎に角として評判は例年に比し最優であった。十月の山元錦城師のリサイタルの成功といひ四十八年の斯界は恵まれた年であったと言える。

榊本旭風師主催 赤穂義士追慕会



(榊本旭風師)

日本橋会理事で東大阪旭会々長として筑前琵琶界に名声と徳望の高い榊本旭風師は、日本武士道の鑑と謳われ誠忠を万世に輝かせている赤穂義士大石良雄始め四十七士を偲び、義士に関する伝記曲を主として愛好者に忠臣蔵で馴染んで頂くと同時に十一月十八日十三時より東大阪市立長楽荘にて琵琶会を開催された。出演は榊本旭風会長、伊藤旭鶴、戸倉旭嶺、山本旭瑞常、若宮旭登、高千穂旭楓、木庭旭山、大垣旭景、樋口旭良、贊助特別出演に松岡旭岡、田中旭昇、柴田旭堂、浜本旭好の諸氏で阪神界の名手を網羅した顔合せとて愛好者は大喜びであった。

山崎旭華師動靜

大阪と東京のほか、中国、九州四國と広い範囲に教授所を持つ山崎旭華名人は、十一月二十三日箱根温泉郷で静養し二十五日上京、同日より二十七日まで東京で教授二十八日帰阪、二十九日広島へ板谷翼氏の叙勲祝賀会へ出席して帰阪、次回東京へは一月中旬に予定されていると。

新年 賀 謹

橋会宗家師範

大坪 旭 邦

米田口スアンゼルス

日本橋会師範
大和流琵琶吟宗範

板谷 旭 邑

730 広島市橋本町一〇ノ一五
電話(〇二)七五二二番

筑前琵琶橋会師範
日本橋会専務理事
同 事務局長

堀田 旭 甲

444 甲心流吟詩道甲心会本部
岡崎市福寿町七七
電話(〇五五)四四五七番

筑前 日本旭会々長
琵琶

松岡 旭 岡

伊藤 旭 暢

520 大津市蓬坂一丁目十二ノ三一
電話(〇七五)九三三八番

筑前琵琶旭嶺会

田中 旭 嶺
若林 旭 洋

154 東京都世田谷区野沢四ノ七ノ一九
電話(〇三三)〇七四五番

筑前琵琶橋会

押川 旭 葉

250-04 神奈川県足柄下郡箱根町強羅
電話(〇三三)二二二二番

筑前琵琶旭会師範

河野 旭 保

802 北九州市小倉区馬場一ノ一四ノ五
電話(〇五二)八三四〇番

筑前琵琶日本旭会

師範 中村 旭 園

門人 一同

810 福岡市中央区今川一ノ七ノ六一
電話(〇七五)〇三七番(〇七)〇三九番

安藤 光 鵬

安藤 光 捷

158 東京都世田谷区東玉川町二ノ三
電話(〇三三)八二二二番

筑前琵琶橋会師範
詩吟 江 楓 流

石河 旭 豊 稜

464 名古屋市千種区徳川山町一ノ十二ノ七
電話(〇五三)七七八〇九番

筑前琵琶橋会師範
詩吟詠錦城流総師範

夏秋 旭 芳

357 佐世保市谷郷町四ノ一七
電話(〇五五)二三四番

本年も宜しく御引立を

石田 琵琶 店

四世 石田 不 識

105 東京都港区芝西久保巴町八九
電話(〇三三)六五四八番



(鈴木流泉師)

創設して七十年、この間新編、代々木また新宿と会場は変更されても毎月一回の演奏会乃至研究会、

鑑賞者の名弾奏家で東京四絃界の重鎮であり、俊気の大家と関西から東北、北陸の愛媛人に名声を慕われ人気の高い日本琵琶振興会会長鈴木流泉師は、琵琶振興会を



(永田咏滉師)

東京吟詠界に吟舞菊水流宗家として名高い巨匠永田咏滉女師は、

鈴木流泉会長が
精勤賞を贈呈

振興会の奨励策

女流の優技光る
錦心祭全国大会

地方の新鋭牙え
満員聴客が笑顔

錦心流一水会本部主催の恒例錦心祭全国大会大演奏会は、既報の如く全国六十余支部中の三十余支部が参加し、十一月十二日午前九

筑前琵琶四世橋本翁師宗家傘下の日本会館の四十九年度全国大会大演奏会、福山市の備後旭会が司会となり、四十九年十月十九、二十の両日福山市市民会館ホールに於て開催される事に決定された。

昭和四十九年の
旭会全国大会は
十月に福山市で

親睦会を開いて琵琶道の復興に努め

時五十分より東京銀座七丁目のガスホール七階会場で開催された。舞台は金屏風一双を背景に、向って右手に故宗家永田詠滉師の舞台写真を飾った祭壇を設け生花が並ぶ。左側には本部と地区支部の会旗が林立され、更に支部旗は会場入口のロビーにまで並んだ。

錦心流一水会本部主催の恒例錦心祭全国大会大演奏会は、既報の如く全国六十余支部中の三十余支部が参加し、十一月十二日午前九

をかける若者には成否を賭ける大事な場である。全国各地より参加出場された各代表者が、果して全員がこの意気込みであるか否か、その大半は東京見物かお祭り気分、の浮いた調子で参加も察しられるが、それは出演者の舞台上に於ける態度や演奏中の真剣味から察し得られるのであって、「芸は人なり」を克く表現するものであるから。

錦心流一水会本部主催の恒例錦心祭全国大会大演奏会は、既報の如く全国六十余支部中の三十余支部が参加し、十一月十二日午前九



(柴田旭堂さん)

日本一の琵琶名曲の収録家として有名な紳士である東京世田谷区太子堂の宮崎道二先生邸で、十一月二十三日午後、薩調四絃の名手浅野晴風師と一門の巧者山下晴楓(白虎隊)、大関英子(本能寺)の演奏を収録された。浅野師の曲は「舟弁慶」であるが、終演後歓談に楽しみ宮崎先生より山海の珍味の饗應を受け辭去された由。

詩吟、民謡、箏曲等十余名が上演された。この内琵琶は筑前十一曲、錦心流二曲で、出演者は筑前側は柴田旭堂、松岡旭岡、田中旭昇、松岡旭山、伊藤旭暢、高千穂旭楓、木庭旭山、宮原旭桂、浜本旭好、宮垣旭璋、大藏旭寿、空野旭昭。錦心流は三浦蓮水さん等の名手で愛好家の声援盛んであった。

- 錦心流琵琶詩吟教授 田中 篁水
- 930 金沢市天神町二ノ六ノ一二 電話(〇七三)五三三八番
- 錦心流琵琶教授 山口 速水
- 116 東京都荒川区西日暮里四ノ七 電話(〇三三)九一九三番
- 錦心流琵琶 松田 静水
- 145 東京都大田区南千束三ノ七 電話(〇三三)七〇七〇番
- 謹賀新年
- 一水会本部顧問 小池 幸水
- 143 東京都大田区中央二ノ七ノ六 電話(〇七三)四四〇番
- 一水会本部顧問 荻野 甲水
- 173 東京都板橋区板橋町二ノ二 電話(〇三三)八五九四番
- 佐藤 采水
- 133 東京都江戸川区東小岩五ノ一 電話(〇三三)四七九八番

- 一水会本部参与 一水会秋田支部長 松井 灯水
- 010 秋田市大田通ノ口〇ノ一 電話(〇一八)六七五八番
- 錦心流琵琶水会 高橋 蘇水
- 040 函館市青柳町二四ノ一六 電話(〇一三)八三六五番
- 浅田 芦水
- 790 松山市北特田町二五ノ二 電話(四一)〇三三三番
- 錦心流一水会平塚支部長 梅沢 伺水
- 254 平塚市宝町十二ノ三三 電話(〇三三)三〇一六番
- 錦心流一水会多摩支部長 各流派琵琶武蔵会事務所 伊藤 磐水
- 184 東京都小金井市本町一ノ八ノ五 電話(〇三三)三三四四番
- 一水会逗葉支部 高橋 旺水
- 240-01 神奈川県葉山町一色九三三 電話(〇三三)一五〇六番
- 錦心流琵琶一水会 田中 歎水
- 658 神戸市東灘区御影中町一ノ一 電話(〇三三)八二二六番

- 錦心流琵琶 原後 伊水
- 251 藤沢市辻堂西海岸一ノ七 電話(〇三三)七〇一
- 一水会本部参与 新編琵琶協会の顧問 畑 関水
- 951 新潟市古町通七番町 電話(〇三三)二二八五番
- 一水会城東支部長 松本 蒨水
- 130 東京都足立区青井一ノ七ノ元 電話(〇三三)四〇〇元
- 琵琶詩吟指導 関口 濤水
- 612 京都市伏見区深草町通町六 電話(〇三三)一六二二番
- 錦心流琵琶 菅野 有水
- 989-24 宮城県岩沼市早稲子前川 電話(〇三三)三〇三二番
- 日本国風流詩吟本部常任理事 錦心流琵琶一水会道東支部長 北 尊水
- 047 小樽市住ノ江一ノ七ノ六 電話(〇三三)九八三四番

- 錦心流琵琶 一水会名古屋支部 菅沼 響水
- 466 名古屋市昭和区塩付通一ノ一 電話(〇三三)四七〇八番
- 奥村 慧水
- 56 名古屋市熱田区千代田町二ノ一 電話(〇三三)三〇〇六番
- 水谷 浩水
- 466 名古屋市昭和区荒田町五ノ一 電話(〇三三)八九一一番
- 神藤 畝水
- 441 愛知県宝飯郡一宮町大字 上長山字東水神平七ノ七五
- 阿部 勝水
- 466 名古屋市昭和区萩原町三ノ一 電話(〇三三)六三九五番
- 中西 穂水
- 504 各務原市中桐野八会池三ノ八
- 小林 残水
- 456 名古屋市熱田区五本松町二ノ一 電話(〇三三)八五七三番
- 土川 吟水
- 420 静岡市緑町六ノ二五 電話(〇三三)五八五八番
- 谷津 壮水
- 467 名古屋市瑞穂区高田町五ノ八 電話(〇三三)三〇五九番

- 錦心流琵琶 小川 吟水
- 570 守口市緑町一七土居団地土 電話(〇三三)五六二五番
- 錦心流琵琶一水会本部参与 林 瑚水
- 326 足利市本城三丁目二〇二三 電話(〇三三)八八四三番
- 錦心流琵琶 一水会中央支部 事務所 新編区北新編一ノ五ノ四 松田殊水方 電話(〇三三)八九六番
- 錦心流琵琶 一水会大阪支部 事務所 守口市緑町七ノ一土居団地土 小川吟水方 電話(〇三三)五二五番
- 錦心流琵琶 一水会神戸支部 事務所 西宮町羽衣町七ノ三四 三浦蓮水方 電話(〇三三)三三三番
- 女流さつき会 事務所 大阪市西成区岸ノ里東二ノ五ノ三(藤原美水方) 電話(〇三三)三三〇三番
- 京絃社 植村 實水
- 569 高槻市津之江北町一ノ一 電話(〇三三)六〇五一番

薩摩琵琶正絃会

岡尾 鶴城
420 静岡市田町一ノ三三

薩摩琵琶
正風会々々長

安田 幸吉
890 鹿児島市荒田二ノ三ノ三
電話(099)54(三)〇九八番

薩摩琵琶
西幸吉門下

宇川 久信
145 東京都大田区北千束三ノ
五ノ五 電話(042)二八八一番

謹賀新年

薩摩琵琶正絃会

池野谷 吟岫
111 東京都台東区元浅草四ノ三ノ七
電話(03)四三一一四番

錦心流大館派琵琶
吟岫教授

稲垣 洲玲
154 東京都世田谷区梅丘一ノ
五ノ七 電話(03)四五七五番

大館派琵琶吟岫教室
洲鳳会本部

山田 洲鳳
160 東京都新宿区新宿一ノ四ノ九
電話(03)七三六六七番

薩摩琵琶岳城流
吉村岳城直門

鈴木 岳亮
010 秋田市橋山登町二ノ四
電話(096)33(〇)九二六番

薩摩琵琶協奏会々々主

晃陽 小野 鶴彦
431 31 浜松市横志町一八三
電話(053)34(〇)八七一番

正派薩摩琵琶
正調詩吟 指南

広川 岳楓
060 91 札幌市中央区南六条西七
丁目 電話(011)八三四八番

薩摩琵琶正絃会

最上 穂洲
031 八戸市内九十一
電話(017)八七七五番

薩摩琵琶正絃会

八東 一峰
165 東京都中野区大和町三ノ七
電話(03)五七三二番

錦心流大館派琵琶

彼ノ矢 洲友
154 東京都渋谷区本町三ノ二
電話(03)三五五三番

錦心流大館派琵琶

中村 洲心
166 東京都杉並区高円寺南二ノ
一ノ二 電話(03)七九六〇番

薩摩琵琶

古曲研究所
所長 辻 靖剛 (東舟)

師範 須田 誠舟
東京都中央区銀座八ノ六ノ五

教師 齋藤 瑛舟
東京都世田谷区上馬五ノ七ノ六

教師 正本 溪舟
東京都葛飾区四ツ木五ノ三ノ二

教師 清川 嵐舟
市川市青野六ノ一八ノ一四

教師 山本 嶺舟
京都市右京区梅ヶ畑高島町
一〇(人見荘内)

教師 小村 鋒舟
埼玉県和光市白子二ノ五ノ六

奥伝 堀越 素舟
千葉県柏市ひばりが丘八ノ三

奥伝 今村 潮舟
東京都渋谷区宇田川二ノ二

中伝 青沼 紅舟
東京都杉並区堀ノ内三ノ五ノ
一二(本屋荘)

初伝 大越 雅舟
府中市西原町三ノ七ノ二〇

相談役 遠藤 鶴東
相談役 栗原 雨竹

錦水会薩摩琵琶
四明会、正絃会、さつき会員

岡部 錦蝶
198 東京都青梅市大門七七八ノ一
電話(062)22(〇)四四八番

薩摩琵琶

伴野 鶴風
420 静岡市袋谷三丁目五ノ二
電話(053)61(〇)九四四番

薩摩琵琶同好会顧問

久木田 稔
892 鹿児島市吉野町八八五ノ
七四 電話(099)34(〇)三九九番

薩摩琵琶協奏会
書道芸術院鑑査員

遊心会 若林 鶴山
250 小田原市浜町三ノ一ノ三二
電話(046)23(〇)三九九番

石田 錦穂
941 新潟県糸魚川市上刈
電話(025)55(〇)四七一九番

薩摩琵琶岳城流

山木 岳盛
573 大阪府枚方市東田宮二丁目
三ノ二 電話(075)43(〇)六三三番

山崎 岳澄
930 富山五福二区五六八二

旧錦田水会々々員
薩摩琵琶協奏会
薩摩琵琶講談
薩摩たつり会

桜井 達隆
371 前橋市平和町一ノ八ノ一
電話(028)33(〇)四八七八番

錦心流琵琶

一水会逗葉支部
事務所
249 逗子市松山三ノ四ノ五三
電話(046)73(一)二二〇番

顧問 曾我 龍城

支部長 平野 鉦水

副支部長 高橋 鉦水

姉崎 証水

石渡 誘水

脇田 湘水

三門 葉水

坂井 政水

川崎 楚水

本庄 糸水

加藤 鉦水

佐々木 鉦水

内藤 鉦水

坂井 鉦水

田中 鉦水

姉崎 鉦水

今野 鉦水

勲三等瑞宝章
叙勲の栄誉者

溝呂木金太郎氏
長野計器の社長

現代計量器業界の権威、溝呂木
金太郎氏(株式会社長野計器製作
所社長)は、計量業界の育成振興
に多年に亘り大きな貢献をなされ
し功績により十一月文化の日に関
三等に叙され瑞宝章を賜ったとは
誠に光榮の至りである。

溝呂木金太郎社長は、青年時代
錦心流琵琶を好み、名人輝錦流師
に就て習得、戦後斯道復興さすべ
く錦心流作興会を組織し、全錦心
流人に呼びかけ毎月演奏会を日本
橋第一証券ホールで開催、経費一
切を自負して活躍され、名声高ま
りつつあったが数カ月にして出演
中に卒倒して不幸中絶するに至っ
たのはお気の毒であった。溝呂木
社長は、少年時代に苦労されて成
長した人だけに不屈の魂強く、著
書もあり職務に熱心の紳士で、八
九年前に黄綬褒章を受章された事
があり、会社の拡張新築も成り、
今又叙勲の恩典は重ね々のお目
出度で慶ばしい。

琵琶振興会霜月例会

東都薩調琵琶の大家鈴木流泉師
会長の日本琵琶振興会の十一月例
会は、二十五日午後一時より新宿
の洲鳳会館にて催され、快晴なが
ら季節烈風の日であったが、流泉
会長、望月啞江役員、山田洲鳳会
館主、芸の友鈴木社長、弘沢雨水

八東一峯、新納岳窓、新部桜水、
杉山雅俊、出口石水、富田の諸氏
外約二十名が出席、琵琶コンク
ールに入賞された一位内山鶴嶺、二
位山田洲鳳、二位宮崎洲香三者の
ラジオ放送の録音と、新部桜水、
水藤五郎、村木桜柳の錦びわ三名
手のラジオ録音を聴いたのち美演
に移り、富田、八東、杉山、新納
氏等の順で熱演が続き八時近くに
和気あいあい裡に解散された。

日本琵琶振興会の師走納めの例
会は、毎年箱根温泉郷で催されて
来たが、四十八年未だ新宿の定例
会場で催し、懇親会として演奏を五
時に切り上げ清宴を開いて一カ年
振興会の忘年会

吟舞、紫舟流宗家
小林紫舟女師

一吟微心霊一の吟声は、日本民
族精神の伝統芸の極致で今や全国
的に最大流勢を極めていく。これ
に美を添えたのが吟舞で、絢爛な
舞台を展げて満客を魅す芸能は威
力である。逗子市に道場を持つ吟
舞紫舟流宗家小林紫舟さんの妙技
は実に艶麗の粹で、愛好者の人気
を一身に集め道場は若い稽古者で
賑わっている。女師はまことに激や
かな美人で愛嬌豊かな良師であり
数十名の会員を有し湘南芸能界の
珠宝と人気高い。



謹賀新年

日本琵琶協奏会々々員
正絃会々々員

柏木 篁道
125 東京都葛飾区鎌倉町四ノ
元ノ四 電話(03)一九四七番

錦心流琵琶一派
日本流吟詠宗家

半田 錦崇
983 仙台市福田町二ノ一〇ノ九

謹賀新年

龍山 松原 絹水
558 大阪府住吉区我孫子町一ノ
七ノ三 電話(06)六五七五番

速見 是水
新住所
400 甲府市太田町二五ノ九
敬友閣マンション云号

水也田流 琵琶楽
琵琶講談

美登里 進水
600 京都市下京区西新屋敷下の町
電話(075)61(一)六七四番

錦琵琶

村木 桜柳
190 立川市高松町二ノ二ノ二三
電話(042)55(三)二四五二番

斎藤 桜嵐
280 千葉市緑町一ノ二七ノ一三
電話(043)21(四)三七八四番

荒井 屋酒場
友吉の健ちゃん
111 東京都台東区浅草一丁目二ノ六
電話(03)44(二)五一一番

薩摩琵琶同好会

会長 小畑 鶴峯
副会長 田上 精一

同 坂口 困秋
390 鹿児島市西田町八二小畑方
電話(099)54(〇)六八七番

薩摩琵琶

中村 錦景
143 東京都大田区山王四ノ一七
ノ四 電話(042)四〇七六番

輝水会山梨県支部長

志田 錦禪
400 甲府市相生二ノ四ノ二七
電話(055)33(三)三三三番

太田 耕水
085 釧路市松浦一四ノ一四
電話(23)三九六六番

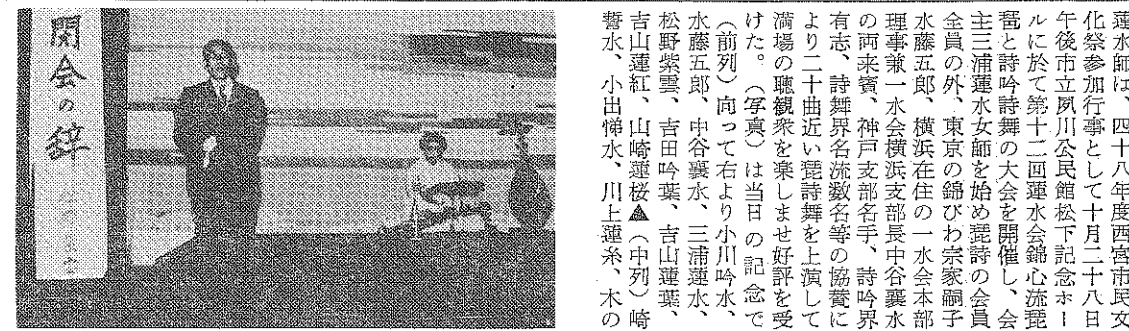
平田 章水
085 釧路市入舟町六ノ二
電話(41)六五四三番

伊藤 魁水
085 釧路市幸町六ノ八
電話(23)九二二二番

賀谷 栄水
085 釧路市浪花町八ノ八
電話(23)四四三三番

西宮文化祭参加 三浦蓮水師大会

(写真説明) 関西琵琶の女王と定評高い淑徳の名匠、西宮市の三浦蓮水師は、四十八年度西宮市民文化祭参加行事として十月二十八日午後市立夙川公民館松下記念ホールに於て第十二回蓮水会錦心流琵琶と詩吟詩舞の大会を開催し、会主三浦蓮水女師を始め琵琶の会員全員の外、東京の錦心流宗家嗣子水藤五郎、横浜在住の一水会本部理事兼一水会横浜支部長中谷薬水の両来賓、神戸支部名手、詩吟界有志、詩舞界名流数名等の協賛により二十曲近い琵琶舞を上演して満場の聴衆を魅了させ好評を受けた。(写真)は当日の記念で(前列)向つて右より小川吟水、水藤五郎、中谷薬水、三浦蓮水、松野紫雲、吉田吟葉、吉山蓮葉、吉山蓮紅、山崎蓮枝(中列)崎誓水、小出憐水、川上蓮米、木の



この大会の特色

この大会の特色としては、三浦師の恩師で日本一の琵琶の名匠水藤五郎の没後追悼の至情を捧げ、舞台上に遺影の祭壇を設け、故師の録音「揚貴妃」を放送して追憶された事で、三浦さんの淑徳を謳われる人情味の豊かさや博愛の優しい良師ぶりが窺えた。当日の主な曲は「修善寺物語掛」水藤五郎、舞曲「屋島回廊」三浦蓮水。詩舞「静御前」青葉芳栄。「巖流島」中谷薬水。「戦艦大和」會長三浦蓮水。二段目写真には三浦師の最終舞台面では松野師の挨拶姿である。

師走を彩った

原島旭粧会盛況

東京琵琶界に於ける一般の大家で、旭会系女流の名匠原島旭粧師の年忘れの慰安演奏会が十二月八日正午から高円寺駅北口の高円寺会館に於て催され、快晴の冬空ながら略満員に近い盛況で大賑わいし、盛んな声援者で出演者手連で激励され、原島師へ感謝されていた。当日は会員の合吟を幕明けに詩吟、琵琶、舞踊、賛助名手の琵琶競演で参加者を喜ばせ好評を受けた。出演された主な者は会主

晴風新年演奏会

一月十三日に東京琵琶両道の名匠浅野晴風師主宰の晴風琵琶晴風会では、恒例の新春演奏会を一月十三日午後一時より四時半まで国鉄中央線高円寺駅北口の区立高円寺会館にて開催する。

喪中に付き御年賀欠礼致します

宮川旭花都
134 東京都葛飾区堀切三丁目十一ノ二
電話 剛五 五三九 番

喪中に付年末年始欠礼致します

水藤五郎
176 東京都練馬区旭町三丁目二ノ四
電話 剛四 四九八 番

喪中に付年末年始欠礼致します

柴田旭堂
上原まり
〒651 神戸市東灘区上筒井通五丁目四ノ二
電話 〇七八(21) 一一六一 番

原島師を始め会員の高野旭美、青木旭昌、春日旭芳、岡田旭達、佐久間旭連、賛助の峯旭孝、若宮旭登、清川嵐舟、藤巻旭鴻、押田旭翁の各巨匠連で千練万研の技研えて良き贈物であった。

旭華会東京本部 新年弾交懇親会

各人山崎旭華師の東京出張教授所である旭華会東京本部では、新年交礼を兼ねた弾初め式を一月十八日午後一時より杉並区高円寺駅北口の根津会館にて催し、終演後六時より同所で新春交礼の懇親宴を開き四十九年度事業計画の相談などを行う。

望月師の音曲会 新春懇親演奏会

一月十日雪中館



(望月望江師)

東京の薩調琵琶界に異色の名人と有名であった望月望江師の音曲会を悉く会得した唯一人の芸家である望月望江師は、琵琶と詩吟両道の大家で指導の外に地方への出張教授もあり、琵琶歌の作詞や作曲の両面での活動と多忙を極め、自己主宰の音曲会も容易に公演会の企画も立たぬ程である。新春には久しぶりで懇親を目的とした演奏会を一月十日午後一時より浅草観音堂前の音曲会館に於て開催される。望月師は流派を超越した社交家であり義侠者であるだけに当日の参加は各派の名手連で賑うことが予想される。

吟詠舞菊水流の会 新年初吟舞の会

一月二十六日に
葛飾区公会堂

東京吟詠界の謀將で、氣品ある吟芸の名匠菅根悠光師と、夫人で吟舞菊水流の宗家である永田吟流師の菊水流本部では、本年活躍の

辻翁へ感謝の会 二月初旬行なう

東京琵琶界の元老で現在日本琵琶協合理事長の辻靖剛翁は、東京でラジオ放送の最初の出演者でこの道六十余年の大家である。師が琵琶の振興発展に寄与された功績は美に大きく、協会成立後でもその運営には数百万円の犠牲を払いつつ十数年を維持された労苦に對し感謝会を開いて師へ報恩の意を表さん計画が目下進められている。

九州筑琵琶の至宝 河野旭保女師

世界に誇る日本の音楽といえは琵琶である。その琵琶は薩摩、筑前、前、後、流共発祥地は九州で、薩摩琵琶は薩主島津公により藩士の家庭に推奨され、筑前琵琶は博多の郷土芸能が初代橋本旭保師によって東京で旗上げされ、家庭の情緒音楽として普及され全国的に拡張し、



(河野旭保師)

謹賀新年

薩摩琵琶正絃会
雲雀会

遠藤鶴東
千葉市登戸四ノ九ノ二
電話(号三六四)一九〇一 番

筑前琵琶詩吟教会
旭登会

若宮旭登
189 東村山市美住町一ノ四
久米公園九ノ二〇四
電話(号三三〇)九三三二 番

三教授の門下が相寄り三ツ和琵琶研究会を組織し、斯界の最強力な



(田中旭法氏)

支援者田中旭法師(巧芸会社長)等有志の後援で十二月二十一日時半より金比羅会館にて発会披露を兼ねた第一回の演奏会を催された。出演会員は何れも三教授所の初心者から八十才に及ぶ高齢者も交る趣味人で、自演自楽の心境に居られる人々という。研究会員の外に各教授と協賛の先生方も出演されて前途を祝福され賑った。

秋山錦賜師が 錦賜会を創立す

錦心流の名匠秋山錦賜師の門下の俊才で、出色の巧者と呼ばれ



(都錦穂さん)

藤沢在住の秋山錦賜師は、絃友や同好の薦めもあり今回錦賜会を創立して琵琶指導と芸能奉仕に活躍されるという。

都さんが教授専門に錦心流琵琶を長野県諏訪市の土田凛水師に手授けられ、故水藤錦穂師に錦琵琶を、また輝水流を輝師に就て研習され、現在東京斯界

日時 昭和四十九年一月二十六日(土曜日)午後一時~四時半
会場 葛飾区公会堂

吟詠舞菊水流新年初吟舞会

主催 菊水流本部

葛飾区青戸六ノ三七ノ二
電話(号三〇)三〇七五 番